

第一回群読コンクール

サントレ「言葉の教育」がスタートして、六年目となる今年度。日本幼児教育振興会では、群読コンクールを開催いたします。

群読コンクール開催にあたって

二〇〇八年から始まったサントレ「言葉の教育」も、皆様のご理解と協力により、全国へと広がり、多くの子供達が日々サントレを、楽しみながら学んでいます。

第一回群読コンクール募集要項

募集期間：平成25年12月1日～平成26年2月10日

対象：サントレ教育を受けている園児・児童
※園ごとのお申し込みとなります。

発表内容：指定課題作品、自由選択作品 ※要問い合わせ

審査：当会役員と理事による映像審査
※群読の模様を収録したDVD等をお送りください。

参加費：1グループ 2,000円

結果発表：平成26年2月末を予定
※サントレ通信、当会ホームページ上にて発表。

表彰：2014年度サントレ春の指導者研修会にて
(会長賞・理事長賞・最優秀賞・優秀賞・奨励賞等)

詳しくは下記までお問い合わせください。

〒160-0002 東京都新宿区坂町26 日本幼児教育振興会 群読コンクール事務局
電話:03-5366-1977 メールアドレス: info@npo-jecc.org

かなづかいのお話
かなづかいには二種類あつて、
「伝統的(歴史的)かなづかい」と
「現代かなづかいがあるんだ。
だけど現代かなづかいは矛盾が多
いんだよ。」

泉
伝統的なかなづかい
現代的なかなづかい
いづみ
いづみ



日本語探検
サントレちゃんの
日本語探検

泉とは「水の湧き出づる所」という意味です。現代かなづかいでは「す」は否定の助動詞で、「水が出ない」の意味となってしまいます。

今年の夏は、全国的に厳しい暑さに見舞われました。夏の指導者研修会が行われた7月下旬の東京では、連日猛暑日を記録しました。そんな中、ご参加頂いた先生方は、本当にお疲れ様でした。

夏が過ぎても各地で厳しい残暑が続きましたが、季節は既に秋。過ぎゆく時間の速さは正に「階前の桔梗已に秋聲」です。これはサントレの年長教材でも採用している漢詩、「偶成」の結句です。

「季節は移り、時間は瞬く間に過ぎて行く。しかし学問を修めるのは大変だから、僅かな時間も無駄にしてはならない。」と儒学者の朱熹は詠んでいます。

幼少期という貴重な時間を大切にして欲しい、そういう今日この頃です。

編一集一後一記

今年の夏は、全国的に厳しい暑さに見舞われました。夏の指導者研修会が行われた7月下旬の東京では、連日猛暑日を記録しました。そんな中、ご参加頂いた先生方は、本当にお疲れ様でした。

夏が過ぎても各地で厳しい残暑が続きましたが、季節は既に秋。過ぎゆく時間の速さは正に「階前の桔梗已に秋聲」です。これはサントレの年長教材でも採用している漢詩、「偶成」の結句です。

「季節は移り、時間は瞬く間に過ぎて行く。しかし学問を修めるのは大変だから、僅かな時間も無駄にしてはならない。」と儒学者の朱熹は詠んでいます。

幼少期という貴重な時間を大切にして欲しい、そういう今日この頃です。

科学的幼児教育・サントレ教材監修者のご紹介

管弦楽選曲 三枝 成彰



幅広いジャンルで活躍する、人気作曲家。
大友直人指揮東京交響楽団の演奏会録音の中から、幼児のための瞑想楽曲を選曲。
■東京音楽大学教授
■神戸女子大学客員教授

朗読監修 露木 茂



元フジテレビエグゼクティブアナウンサー。
教育から芸術・芸能、スポーツ、政治まで深い造詣は全般にわたる。
■東京国際大学教授
■早稲田大学客員教授

絵本監修 わたせせいぞう



日本を代表するイラストレーター・漫画家。
ミュージシャンとのコラボレーションによるアニメーションなど、作品多数。

管弦楽指揮 大友 直人



教育活動にも精力的な国際派。
古典からポピュラーなどレパートリーは幅広い。
■東京交響楽団常任指揮者
■京都市交響楽団桂冠指揮者
■東京文化会館音楽監督

朗読監修 八木 亜希子



元フジテレビアナウンサー。
2000年4月よりフリーアナウンサーとしてテレビ、ラジオ、映画など幅広い方面で活躍中。

歌唱監修 岡崎 裕美



NHK教育テレビ「なかよしリズム」で歌のお姉さんを担当。
■平成音楽大学教授(声楽科・児童音楽教育学科)
■第23回日本語賞特別賞受賞
■第10回日本文化大衆音楽童謡部門グランプリ受賞

NPO法人 日本幼児教育振興会役員

会長 鶴田 卓彦 (日本経済新聞社 元会長・社長 横綱審議委員会 前委員長)

副会長 仁平 圭雄 (財団法人日本交通管理技術協会 会長 元警視総監 元JAF会長)

富永 靖雄 (横浜ゴム株式会社 元会長)

理事 小林 隆幸 (本田技研工業株式会社 元常務取締役)

山田 伸孝 (来迎院住職、横浜幼稚園経営者)

児玉 圭司 (株式会社スヴェンソン 代表取締役)

甘竹 秀雄 (株式会社アマタケ 会長 大船渡商工会議所 元会頭)

菊野 善衛 (株式会社サンケイリビング新聞社 元会長)

安田 吉廣 (元大阪府議会議員)

竹山 康彦 (株式会社旭屋書店 取締役 産経学園 取締役)

品川 萬里 (福島県郡山市長 元福政審議官)

植木 とみ子 (元福岡県教育長)

白井 元二 (コモンズ株式会社 元監査役)

佐藤 公雄 (NPO法人日本幼児教育振興会 指導担当)

幼児のための言葉の教育

サントレ通信 vol.7



わせせいぞう

科学的幼児教育
サントレ
Scientific Training
2013年9月発行
NPO法人 日本幼児教育振興会

毎年、サントレ導入園の先生方を対象に、基礎編終了後の応用編として開催している、夏の指導者研修会。

今年も、7月27日・28日の両日に亘って東京の専修大学で開催致しました。

土屋秀宇先生からは、戦後教育の問題点と言葉の教育の重要性をご講演頂きました。また春に引き続き、日本航空株式会社から神村恵美子先生をお招きしてのマナー講習、更に作曲家の三枝成彰先生の特別講演など貴重なお話を頂き、充実した2日間となりました。

今回のサントレ通信は、研修会レポートと共に、サントレ導入園をご紹介します。

毎年、サントレ導入園の先生方を対象に、基礎編終了後の応用編として開催している、夏の指導者研修会。</p

二〇〇九年夏からサントレを導入した

岩国南幼稚園からは、

清水由佳利先生と小山明美先生のお二人が、

実施園報告をして頂きました。

「共に学び、共に遊ぶ」

岩国南幼稚園



清水先生による岩国南幼稚園の紹介

清水先生からは、日頃の園児の生活や保護者の声を紹介して頂きました。

通園バスの中で響く漢詩

岩国南幼稚園は全11クラス二百名以上の中園児が通う、山口県内でも規模が比較的大きな幼稚園です。

一年を通して様々な行事があり、子供達は毎日元気に生活しています。岩国には海上自衛隊や米軍の岩国基地があり、園児のお父様の中には自衛官の方もいらっしゃいます。

今年で四年目を迎えたサントレですが、先日年少の子のお母様方から、ご自宅での様子をうかがいました。

「学期は教材を持って帰ってきて

白子ひかり幼稚園

学校法人ひかり学園

三重県鈴鹿市



静かに瞑想する白子ひかり幼稚園の園児達

思い描いてみよう ～生き生きとした、みんなの未来の笑顔を～

「自分を信じることを育てる」を園の基本理念としている白子ひかり幼稚園は、サントレを導入して四年目。園児は勿論、卒園児も笑顔にあふれています。

卒園児の小学校生活

小学校での出来事などを卒園児や保護者に聞くことがあります。「参観の様子では、白子ひかり幼稚園出身の子供達の集中力はやっぱり他の子とは違いますよ。これもサントレの効果ですね！」と教えてくれました。しかし、その反面、ひらがな主体の授業に子供達も、保護者も戸惑っているようです。ある保護者は「せつから漢字で自分の名前を覚えたのに、すべてひらがな！持ち物にもすべてひらがな！」「せつから覚えたのに逆戻り。」と不安そうでした。

でも、保護者には「三年間で身についたサントレ教育はそう簡単には忘れませんよ！しっかりと子供の中に根付いています。」と話しています。

園長 西尾眞先生

サントレと出会い、三年が経ちました。三年間しっかりとサントレ教育をした子供達がいよいよ小学校へ飛び立つてきました。今でも思い出されます。卒園式での素晴らしい姿勢、集中力。まさに、サントレ教育の効果と断言できるでしょう。サントレ教育の力は少しずつですが、子供達に吸収されています。三年経ち、やっと先生達にもサントレ教育の効果が実感出来るようになってきました。その実感が自信になり、先生達にやる気をもたらしてくれています。

私達に出来ること

私は、いま幼稚園で出来ることを一所懸命やろうと思います。小学校、中学校、高校では、殺伐とした言葉が飛び交い悲しい事件も起きています。言葉の影響力の強さを実感する毎日です。しかし、負けずにサントレ教育をやり続け、そんな悲しい出来事が起きない未来を作りたいですね。言葉の力で日本を変えるサントレ教育が少しずつでも広がることを願っています。



漢字カードを使った授業

不思議に思っていたところ、参観日に幼稚園で俳句を習っている事を知り、小林一茶の事だったのかと感心しました。といった楽しいエピソードがたくさん寄せてもらっています。

だらう？と楽しそうに聞いてきたりするようになりました。

岩国南幼稚園の通園バスはとても可愛くて「あのバスに乗りたい！」という子供も多いのですが、バスの中で俳句や漢詩を詠んじる子供もいて、私達職員の方が驚かされています。

せられて、います。サントレを始めて二年目となる年中さんは、来月はどんなお話を聞いてきたりするようになりました。

岩国市には米軍岩国基地がある関係で、日本人の園児に混じって外国人の園児もサントレを学んでいます。

ある日、米国人のご夫妻が幼稚園を訪ねてきたのですが、英語で書かれた当園のパンフレットを持つていました。勿論、私達は英語版のパンフレットを作った記憶はありません。聞いたところによると近隣にお住まいの海外の方々が作られた物を頂いたとのことで私達教員も大変驚きました。

新学期に日本に来られる方も多く、教育に熱心な保護者の方は、日本の子供達と同じ幼稚園に通わせたいと思われているようです。

日本人の園児と外国人の園児が共に学ぶ大変ユニークな環境の岩国南幼稚園。その分、先生方のご苦労が垣間見える内容に、報告を聞かれていた出席者からは「大変参考になった。」という感想が寄せられました。

以前は授業や発表会等で、サントレ教材にある題材を取り上げていたので、最近では教材に無い作品にも取り組んだり、先生同士で話し合いながら工夫してサントレを進めています。

日本人の園児と外国人の園児が共に学ぶ大変ユニークな環境の岩国南幼稚園。その分、先生方のご苦労が垣間見える内容に、報告を聞かれていた出席者からは「大変参考になった。」とい

う感想が寄せられました。

授業や発表会でも工夫を

これまで合唱や演奏を披露していた音楽発表会。サントレを始めてからは、童謡や漢詩などの群読なども行うようになりました。繰り返しやソロを入れる等の工夫しながら、発表会にふさわしい内容にアレンジしています。

今年の卒園式では、園児一人ひとりの卒園の言葉の後に、全員で清少納言の『枕草子』を披露しました。日本人の園児と一緒に、外国人の園児も一所懸命にがんばっている姿は、とても良い姿が見えていました。

音楽発表会。サントレを始めてからは、童謡や漢詩などの群読なども行うようになりました。繰り返しやソロを入れる等の工夫しながら、発表会にふさわしい内容にアレンジしています。

私は教員は、そんな子供のために、漢字カードにローマ字を書いたり工夫しながら、共に学べる環境の実現に努めています。

私は教員は、そんな子供のために、漢字カードにローマ字を書いたり工夫しながら、共に学べる環境の実現に努めています。

新潟県新潟市

社会福祉法人 みつばち福祉会

みつばち第一保育園

新潟市のみつばち保育園、みつばち第一保育園はサントレを導入して三年目。先生方の熱意と努力により、保護者の皆様からも高い評価を頂いています。



先生と一緒に俳句の音読



群読 雨ニモマケズ

愛知県名古屋市
学校法人 松永学園
愛英名東幼稚園

昨年度、サントレを三年間学んだ子供達を初めて小学校へと送り出した、愛英名東幼稚園。先生方の指導力は、保護者の皆様からも高い評価と信頼を得ています。

知・徳・体のバランスがとれた教育を

卒園した子供達
卒園した子供達の自慢は、毎年行われる二月の学習発表会で行つた群読。昨年の年長組が群読「学問のすゝめ」を行い、その意気揚々とした姿を、憧れのまなざしで見ていました。そして迎えた当日。やる気満々の子供達は、大きな舞台に臆することなく、堂々と宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を披露することができます。保護者の方々からは、「素晴らしい群読だった。」「涙が出ました。」などのお褒めの言葉も頂き、子供達の力の素晴らしさを改めて感じることが出来ました。



姿勢を正して漢詩を音読する園児達

学園長 松永 充政先生
本園は昭和五十五年、名古屋市名東区に、松永学園五つの幼稚園として開園しました。開園当初より、光あふれる園舎、広々としたグランドには、子供達の明るく元気な声が響きわたっています。そんな園生活を通じて明るく豊かな心を育むとともに、先進の教育・指導も積極的に実践し、質の高い人間形成を行っています。

本園がサントレを導入して三年が経ちました。そしてこの春、年少から三年間サントレを学んだ初めての子供達を、自信をもつて小学校へ送り出すことが出来ました。

卒園した子供達の自慢は、毎年行われる二月の学習発表会で行つた群読。昨年の年長組が群読「学問のすゝめ」を行い、その意気揚々とした姿を、憧れのまなざしで見ていました。そして迎えた当日。やる気満々の子供達は、大きな舞台に臆することなく、堂々と宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を披露することができます。保護者の方々からは、「素晴らしい群読だった。」「涙が出ました。」などのお褒めの言葉も頂き、子供達の力の素晴らしさを改めて感じることが出来ました。

卒園児保護者のアンケートより
●先生の話を静かに座つて聞くことが普通だと思っていたので、出来ない小学生がいるのが不思議、という感じです。●学校でも姿勢よく授業を受けています。サントレは、遊びながら言葉を学べるトレーニングであり、美しい日本語をたくさん覚えて、心豊かな子供になります。

子供の成長を実感できる言葉の教育

**みつばち第二保育園
園長 伊藤 久子先生**
サントレの実施により、日を追うごとに効果が表れ、子供達にも落ち着きが出てきました。言葉というより奇声を発していた子供達も、語彙が増えるとともに奇声がなくなり、保育中や給食中に立ち上がり、自分勝手に動かして、導入を決めました。

半年間のモニター期間を設け、職員研修や模擬授業を実施し、年度末には公開保育を開き、言葉の教育『サントレ』を保護者の方により良く理解していただきました。いたぐために、土屋先生や佐藤先生から、講演をして頂きました。

当法人の二園の保育園がサントレを導入してから、三年目になります。導入のきっかけは、平成二十年に保育所保育指針が改正され、改正の一つとして『養護と教育の一体化的実施』という保育所保育の特性が明確化されたことです。改正に伴い当園では、子供にとって、この時期に何が一番必要かということを考えできました。これまで外國の方とのふれあいや、音楽指導などを取り入れ、養護だけでなく、教育的内容を含め保育をして参りましたが、この『サントレ』に出会い、正に一体化的な実施ができると確信し、導入を決めました。

園長 伊藤 清嗣先生

当法人の二園の保育園がサントレを導入してから、三年目になります。導入のきっかけは、平成二十年に保育所保育指針が改正され、改正の一つとして『養護と教育の一体化的実施』という保育所保育の特性が明確化されたことです。改正に伴い当園では、子供にとって、この時期に何が一番必要かということを考えできました。これまで外國の方とのふれあいや、音楽指導などを取り入れ、養護だけでなく、教育的内容を含め保育をして参りましたが、この『サントレ』に出会い、正に一体化的な実施ができると確信し、導入を決めました。

園長 伊藤 清嗣先生

保護者の皆様から
●言葉の力、言葉の大切さを実感しました。子供の成長を見る事ができ、とても嬉しかったです。家では子供が半信半疑でしたが、一年続けてきた子供達の様子、姿勢を良くし、心を落ちます。言葉に興味を持つとともに、姿勢を正している姿に感心しています。最初はどんなものかサントレ教育に半信半疑でしたが、一年続けてきた子供達の様子、姿勢を良くし、心を落ちます。言葉に興味を持つとともに、姿勢を正している姿に感心しています。

●最初は自分が興味のある本や、子供事典なども集中して読むようになります。土屋先生の講演を聞いて、改めて家庭での親の言葉使いを見直さなければ!と思いました。

き回る行動もなくなつて来ました。

『姿勢を正す』サントレの大事な基本が、子供達に身についてきたのだと思います。サントレを通して、姿勢が良くなるにつれて、ヤル気のない子供や、根気のない子供達に変化が表れてきた事に、私たちも職員一同驚いております。